

綾瀬終末処理場消化槽設置に伴う 汚泥減量化と消化ガス発電事業の状況について

1 事業の概要

本事業は、汚泥の減量化による汚泥処分費の削減と、消化ガス発電等による温室効果ガスの削減を図るため、汚泥減量化施設と民設民営の発電施設を整備し、令和6年4月1日に稼働を開始しました。

汚泥の減量化により、年間約5,000t発生する脱水汚泥を約900tの乾燥汚泥に減量化し、石炭等の代替燃料や肥料等として利用します。

また、消化により発生する消化ガスは、乾燥設備の熱源利用と民間の発電事業者へ売却します。

これらの経費削減と収入源の確保により、下水道事業運営の安定化を図ります。

2 乾燥汚泥及び消化ガスの売却益

(1) 乾燥汚泥の売却実績

月分	売却益（税込）	売却量
4月分	83,000円	16.60t
5月分	174,300円	34.86t
6月分	126,700円	25.34t
8月分	93,000円	18.60t
9月分	149,100円	29.82t
合計	626,100円	125.22t

(2) 消化ガスの売却実績

月分	売却益（税込）	売却量
4月分	78,238円	15,632Nm ³
5月分	104,088円	20,797Nm ³
6月分	136,441円	27,261Nm ³
7月分	104,879円	20,955Nm ³
8月分	72,277円	14,441Nm ³
9月分	115,260円	23,029Nm ³
合計	611,183円	122,115Nm ³

(3) 売却益計（A） 1,237,283円

3 維持管理経費の比較

比較対象月	支出額
令和5年4月～9月	243,986,451円
令和6年4月～9月	233,782,124円
維持管理経費差額 (B)	10,204,327円

4 経費削減効果

$$(A) 1,237,283円 + (B) 10,204,327円 = \underline{11,441,610円}$$

(参考) 汚泥処理フロー

